



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 名

上場会社名 シーキューブ株式会社

コード番号 1936 URL <http://www.c-cube-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 渉

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 平手 一幸

TEL 052-332-8023

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,516	4.6	892	109.8	1,011	87.5	534	598.6
23年3月期第2四半期	22,482	1.2	425	30.7	539	36.1	76	△59.6

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 495百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.84	—
23年3月期第2四半期	2.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	38,666		26,157		66.4
23年3月期	40,210		25,869		63.2

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 25,685百万円 23年3月期 25,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	10.0	2,300	1.8	2,500	1.2	1,200	14.5	44.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	27,644,699 株	23年3月期	27,644,699 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	711,966 株	23年3月期	711,591 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	26,932,888 株	23年3月期2Q	26,941,734 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響によりサプライチェーンが寸断され、経済活動が停滞したものの、徐々に復興がすすみ、一部に回復の兆しがみられるようになりました。その一方で、欧州の債務問題の影響や世界経済の景気減速懸念など先行き不透明感が残るまま、推移いたしました。

当社グループの主要な事業分野であります情報通信事業分野のうち、ブロードバンドサービス市場では、光アクセスサービスの契約数が平成23年6月末に前年同月と比べ238万件増の2,093万件となり、依然として安定した増加が続いております。これに伴う、通信速度の高速化と大容量コンテンツが利用可能なネットワーク基盤の充実により、システムの構築が簡単・迅速に行えるクラウドコンピューティングが本格的に拡大しつつあります。また、クラウドコンピューティングを活用した支援サービスが、東日本大震災直後の緊急対応とその後の復旧活動に大きく貢献しております。移動通信事業分野では、パソコンに近い操作性で、映像やゲームなどのコンテンツや位置情報サービスなどの様々なアプリケーションソフトを活用できる「スマートフォン」の普及が加速しております。これを受け、各事業者間によるスマートフォン販売競争がますます激しさを増してきております。

当社グループにおきましては、東日本大震災に伴う災害復旧支援として、同業他社と協力して、支援要員、機工具類、高所作業車等を派遣し、被災地における電気通信設備の復旧に最大限の支援・協力を行いました。また、同時に発生した原発事故に伴い、日本全国で電力不足が深刻化することを想定し、それに先駆けて4月から6月上旬にかけて本社ビルを中心に「超計画節電」を試行いたしました。具体的には、「空調を換気モードに」「事務室等照明の部分消灯」「エレベーターの一部運転停止」などを実施し、その経験を踏まえ夏場の電気使用量の削減に取り組んでまいりました。

当社グループは「私たちは、皆様から“シーキューブグループってすごい”といわれる会社にします」を基本テーマに掲げた中期経営計画「Create2012」の目標達成に向けた諸施策を積極的に展開してまいりました。具体的には、受注競争の激化やそれに伴う受注価格の低下に対応するために、一層の固定費削減や原価改善に努めたほか、多様化するお客様のニーズに的確に対応し、高品質なサービスを提供することに注力してまいりました。更に、高度化する技術に対応できる技術者の育成、お客様により満足していただけるようCSの向上などに取り組んでまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、受注高248億12百万円（前年同四半期比97.3%）、売上高235億16百万円（前年同四半期比104.6%）、経常利益につきましては、10億11百万円（前年同四半期比187.5%）、四半期純利益は5億34百万円（前年同四半期比698.6%）と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 通信建設事業

通信建設事業では、受注高は192億91百万円（前年同四半期比96.4%）、売上高は179億95百万円（前年同四半期比105.9%）となり、セグメント利益（営業利益）は7億95百万円（前年同四半期比181.1%）となりました。

② 情報サービス事業

売上高は55億20百万円（前年同四半期比100.5%）となり、セグメント利益（営業利益）1億24百万円（前年同四半期 セグメント損失（営業損失）7百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は386億66百万円（前連結会計年度末402億10百万円）となりました。その減少の主な要因は、売上債権の減少によるものであります。負債は125億8百万円（前連結会計年度末143億41百万円）となりました。その減少の主な要因は、仕入債務の減少によるものであります。純資産は261億57百万円（前連結会計年度末258億69百万円）となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、15億43百万円増加し、62億88百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は25億77百万円（前年同四半期：13億20百万円資金増加）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少30億98百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少13億52百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は5億9百万円（前年同四半期：12億81百万円資金減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出4億32百万円でありま

す。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は5億24百万円（前年同四半期：5億12百万円資金減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出2億4百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,814	6,352
受取手形・完成工事未収入金等	15,551	12,453
未成工事支出金	1,482	1,236
商品	78	88
仕掛品	25	79
材料貯蔵品	326	349
繰延税金資産	294	372
その他	626	651
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	23,192	21,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,945	3,807
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,219	1,188
土地	7,997	7,997
建設仮勘定	4	133
その他（純額）	35	39
有形固定資産合計	13,203	13,166
無形固定資産	145	235
投資その他の資産		
投資有価証券	1,833	1,736
繰延税金資産	1,158	1,268
その他	702	706
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	3,668	3,685
固定資産合計	17,017	17,087
資産合計	40,210	38,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,221	3,877
短期借入金	800	695
1年内返済予定の長期借入金	4	805
リース債務	48	55
未払法人税等	832	573
未成工事受入金	70	170
賞与引当金	478	732
役員賞与引当金	70	52
その他	1,759	1,307
流動負債合計	9,286	8,269
固定負債		
長期借入金	2,359	1,354
リース債務	90	100
再評価に係る繰延税金負債	504	504
退職給付引当金	1,803	2,006
役員退職慰労引当金	159	143
長期未払金	95	85
その他	41	43
固定負債合計	5,054	4,238
負債合計	14,341	12,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,104	4,104
資本剰余金	3,801	3,801
利益剰余金	19,368	19,712
自己株式	△135	△135
株主資本合計	27,139	27,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△55	△110
土地再評価差額金	△1,687	△1,687
その他の包括利益累計額合計	△1,742	△1,797
少数株主持分	472	472
純資産合計	25,869	26,157
負債純資産合計	40,210	38,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
完成工事高	16,990	17,995
商品売上高	5,491	5,520
売上高合計	22,482	23,516
売上原価		
完成工事原価	15,631	16,287
商品売上原価	4,451	4,302
売上原価合計	20,082	20,590
売上総利益		
完成工事総利益	1,359	1,707
商品売上総利益	1,040	1,217
売上総利益合計	2,400	2,925
販売費及び一般管理費	1,974	2,033
営業利益	425	892
営業外収益		
受取利息及び配当金	32	29
受取保険金	2	20
株式割当益	29	—
その他	71	86
営業外収益合計	135	136
営業外費用		
支払利息	10	8
その他	10	7
営業外費用合計	21	16
経常利益	539	1,011
特別利益		
前期損益修正益	11	—
固定資産売却益	11	14
その他	2	0
特別利益合計	25	14
特別損失		
前期損益修正損	22	—
固定資産除売却損	67	56
投資有価証券評価損	107	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34	—
その他	11	0
特別損失合計	243	69
税金等調整前四半期純利益	321	956
法人税、住民税及び事業税	475	566
法人税等調整額	△229	△160
法人税等合計	246	406
少数株主損益調整前四半期純利益	75	550
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	16
四半期純利益	76	534

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75	550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	△55
その他の包括利益合計	△99	△55
四半期包括利益	△24	495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△21	479
少数株主に係る四半期包括利益	△2	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	321	956
減価償却費及びその他の償却費	484	505
投資有価証券評価損益 (△は益)	107	13
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28	△18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	278	203
受取利息及び受取配当金	△32	△29
支払利息	10	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34	—
売上債権の増減額 (△は増加)	2,029	3,098
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△188	158
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,002	△1,352
その他の負債の増減額 (△は減少)	△669	△535
その他	200	340
小計	1,546	3,349
利息及び配当金の受取額	32	29
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△247	△792
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,320	2,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△21
定期預金の払戻による収入	14	27
有形固定資産の取得による支出	△1,214	△432
有形固定資産の売却による収入	5	29
投資有価証券の売却による収入	3	0
保険積立金の積立による支出	△47	—
その他	△21	△111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,281	△509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△202	△105
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△402	△204
配当金の支払額	△188	△188
その他	△19	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△512	△524
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△473	1,543
現金及び現金同等物の期首残高	6,339	4,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,866	6,288

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,990	5,491	22,482	—	22,482
セグメント間の 内部売上高又は振替高	134	285	419	△419	—
計	17,124	5,776	22,901	△419	22,482
セグメント利益 又は損失(△)	439	△7	431	△6	425

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信建設事業	情報サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,995	5,520	23,516	—	23,516
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	289	400	△400	—
計	18,106	5,809	23,916	△400	23,516
セグメント利益	795	124	920	△28	892

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。